

欧州委員会、2014年の欧州連合税関における知的財産権の権利行使に関する報告書を公表

2015 年 10 月 29 日

JETRO デュッセルドルフ事務所

欧州委員会は、10 月 27 日、「2014 年の欧州連合（EU）の税関における知的財産権の権利行使に関する報告書（Report on EU customs enforcement of intellectual property rights - Results at the EU border 2014 -）」を公表した旨をプレスリリースした。

同プレスリリースは、前述の報告書に基づき、EU の税関は 2014 年の間に約 3,550 万点の知的財産権被疑侵害品を差し押さえたと伝えており、EU 域内への侵入を阻止した製品の総額は 6 億 1,700 万ユーロ近くにも達するとしている。同報告書によると、この多数の模倣品差し押えは、インターネット販売の増加に起因する大量の小規模貨物の配送に関連している可能性がある。

同報告書は、2014 年に EU の税関で差し押さえられた模倣品のカテゴリー、供給元及び輸送手段に関する統計データも提供している。差し押えを受けた模倣品カテゴリーの第 1 位として「タバコ」が、差し押さえられた模倣品総点数の約 35%に上り、「玩具」、「医薬品」がそれに続くと同プレスリリースは報じている。

また、同プレスリリースは、模倣品の出所について、80%が中国であり、香港、UAE、トルコ、インドがそれに続く指摘。なお、同プレスリリースは、差し押えとなった事件のうちの約 90%は、模倣品が破壊されて終わるか、侵害品であるかどうかを判断するための裁判事件にいたるかのいずれかの道を辿ったと報じている。

EUは近年、税関における知的財産権の権利行使を強化する取組を行っている。その一環として、税関の知的財産権エンフォースメントに関する規則を2013年6月に改正しており、2014年1月1日から新規則（税関の知的財産権エンフォースメントに関する、そして、理事会規則(EC) No 1383/2003を破棄する、2013年6月12日付欧州議会及び理事会規則(EU) No 608/2013）の適用が開始されている。

— 欧州委員会のプレスリリースは、以下参照 —

[New report highlights crucial role of EU customs authorities in fighting against counterfeit goods](#)

— 欧州委員会の報告書は、以下参照 —

[Report on EU customs enforcement of intellectual property rights - Results at the EU border 2014 - \(PDF\)](#)

— 欧州委員会が報告書と併せて公表した関連資料は、以下参照 —

[European Commission - Fact Sheet, EU customs action to tackle the infringement of intellectual property rights - Frequently Asked Questions](#)

— 2013、2012 年の欧州連合税関における知的財産権の権利行使に関する報告書に関する
欧州知的財産ニュースは、以下参照—

[欧州委員会、2013 年の欧州連合税関における知的財産権の権利行使に関する報告書を公表
\(2014 年 8 月 5 日\) \(PDF\)](#)

[欧州委員会、2012 年の欧州連合税関における知的財産権の権利行使に関する報告書を公表
\(2013 年 8 月 7 日\) \(PDF\)](#)

— 欧州議会による税関における知的財産権の権利行使に関する新規則の採択に関する欧
州知的財産ニュースは、以下参照—

[欧州議会、税関における知的財産権の権利行使に関する新規則を採択 \(2013 年 6 月 11 日\)
\(PDF\)](#)

(以上)